

関小学校



三つの保育園に入園したのは四十一人。また、五つの小学校では四十八人、中学校は七十四人がそれぞれ入学し、ピカピカの一年生が新たに仲間入りしました。

村内保育園の入園式が四月四日、小・中学校の入学式が四月七日にそれぞれ行われました。

大きな希望を胸に 青春の日々へ

入園式・ 入学式

平成20年度の園児・児童・生徒数の状況

保育園

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
下関	3	6	11	31	30	24	105
大島			6	11	9	15	41
女川			1	6	3	4	14
計	3	6	18	48	42	43	160

小学校

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
関	23	28	25	27	40	27	170
土沢	6	8	7	7	3	9	40
安角	1	2	1	5	5	4	18
女川	12	9	12	4	13	10	60
川北	6	5	6	6	4	16	43
計	48	52	51	49	65	66	331

中学校

	1年	2年	3年	計
関川	74	65	61	200



下関保育園



関川中学校の入学式では、新しい制服に身を包んだ新入生が堂々と入場。緊張と期待を胸に、伝統ある関川中学生の一員となりました。

春の観光シーズンを前に接客サービスの心構えなどを学ぶ接遇研修会が、三月二十八日、高橋屋観山荘を会場に行われました。これは、観光協会と温泉旅館組合の主催で毎年行っているもの。旅館従業員など約四十人が、お客様とのコミュニケーションについて学びました。

講師はフリーアナウンサーの菊野麻子さん。「お客様の心

観光協会・ 温泉旅館組合 が接遇研修

をつかむのは、第一印象を良くすることが大事です」と講話の後、ペアを作り実践形式で第一印象を良くする練習を熱心に繰り返していました。



特別列車「こがね号」に ミニ大蛇が乗車

4月5日と6日、米坂線特別列車「こがね号」に、ミニ大蛇が乗車しました。こがね号に乗車するのは昨年引き続き2回目。車内でのミニ大蛇パレードや村の観光PR、小国駅で新潟地鶏の販売などを行い、関川村をアピールしました。



早朝から行われる村内一斉クリーン作戦。道路脇や側溝などに捨てられている可燃ごみや空き缶などを熱心に拾い集めていました。



きれいな村づくりへ **協働**

4月6日、村内一斉クリーン作戦、荒川クリーン作戦が行われました。また、4月に入り村内各集落ではえざらいも行われ、きれいな村づくりのため、村民一丸となって汗を流しました。

皆さん、たいへんお疲れさまでした。

荒川クリーン作戦は、清流荒川の環境を守るため、毎年開催されていて、一般の方やスポーツ少年団の団員、保護者など約三百人が参加。



各集落で行われているえざらい。道路側溝のふたをはがしながら、ていねいに排水路などを清掃していました。

表彰

おめでとうございます
ーげいーます

民生・児童委員として、長年にわたり地域福祉の増進に尽力された皆さんに、表彰状が贈られました。

★敬称略

厚生労働大臣特別表彰
加藤 克夫（鮎谷）

須貝 サチ（中束）
大嶋 末三（上野新）



全国民生児童委員連合会
長表彰

加藤 克夫（鮎谷）
須貝 サチ（中束）
内山 保（大島）

平成十九年産JA岩船産コシヒカリ高品質・良食味米共進会表彰

・団体の部 最優秀集落賞
大石農家組合
・個人の部 最優秀賞
村田 正一（宮前）

関川学研究紀要第1号を発売

関川学研究会

関川学研究会が「関川学研究紀要」の第一号を、二月に発売しました。

関川学研究会（会長・伊東正夫）は、関川村に係る学術的考察や研究、資料収集などを行っているサークルで、平成十七年に発足。現在十六人の会員で活動しています。今回の紀要では、これまでに研究を重ねてきた「村に残る米沢街道の痕跡」「ホテルの飛ぶ村」の成果をまとめたもの。また、三月二十五日には村

民会館で総会が行われ、二十年度の研究発表や紀要第二号の発行などについて話し合われました。

「関川学研究紀要第一号」は、村民会館図書室でご覧



関川学研究紀要第1号



関川学研究会の皆さん

ただけます。

問い合わせ先

会長・伊東正夫

☎六四 〇四〇三

事務局・村民会館内

☎六四 二二三四